

# 祖母の期待 裏切れない

いま No.465  
子どもたちは  
だから海外留学 ⑧

「洋画や海外ドラマが好きだったこともあって、『今回はまじめにやるから留学させてください』って親に頼んだんです」  
横浜市に住む通信制高校2年

の女子生徒(17)は、米国ワシントン州の「コミュニティカレッジ(公立2年制大学)に合格し、今春、入学する。

「高1のときはフル単(全単位取得)だったのに、高2から、ほほ家にひきこもってました。アタシみたいな、人に頼りがちな性格の子は、今の環境を変えないといけないなと思って。お金が足りないの、祖母も出してやることになるかもしれない。『昔のあなたを見たいか

ら、しっかりと勉強して成長して帰っておいで』って言われ、涙ボロボロでした。その期待、絶対に裏切れないなって」



友達にメールを送る女子生徒。出発の準備は「まだ全然できてないんです」=6日、東京都内

私立中学を2年生のときに中退した経験がある。  
「アタシ、人から強いられるとダメなんです。小3から母と2人暮らしだったんですが、母は『高学歴の男と結婚するには、いい大学に行かなきゃ』っ

て。中学受験のために塾に通わされ、成績が上がるとさらに期待され、下がると怒られて。プレッシャーで死にそうでした」  
小6のとき、その反動が出たんだと、自己分析している。  
「6月の試験では難関校が合格圏だったんですけど、勉強しなくなっちゃった。結局、私立の女子校に入ったんですけど、校則が厳しくて。ああしろ、こうしろと言われて、学校生活に楽しみを見いだせなかった。他校の生徒と遊ぶようになって、素行不良で退学になりました。泣きました。自分もって大人

だったら、ふつうに高校、大学と進めたんじゃないかって」  
出発は、1カ月後に迫る。  
「『留学する』って言うと、『逃げるんだ』とか『楽な道を選んだ』とか思われるかもしれない。でも今、不安だらけなんです。授業は英語だし、勉強してこなかったから、やっていけないの。渡航書類を準備しながら、緊張して吐いちゃったくらい。でも、この留学にかけるんです。20歳になったら、親が安心できるように自分になっていいたいと思うんです」  
(杉山麻里子)